

令和7年度 教科研修会Ⅱに向けた授業の構想

美術科

1 美術科の研究テーマ

主題を基に考えを深める力を高める学習のあり方

2 研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体の姿

- ・構成や装飾などを基に、対象の特徴から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている姿 (1学年、表現領域)
- ・客観的な見方や捉え方をふまえて、生活を彩る布に描かれているものやその配置などの表現の工夫について考えを整理している姿 (1学年、鑑賞領域)
- ・抽象的な概念を表すために、複数の材料の性質や特徴を生かしてその組合せを考えたり、形のデフォルメを考えたりしている姿 (2学年、表現領域)
- ・作品を描いた時代や社会的背景、作者の作風をふまえて、作者の心情や表現の意図について考えを整理している姿 (2学年、鑑賞領域)
- ・どのような自分を表したいかを決め出し、様々な表現方法や材料の特性、そこから感じたことを効果的に表現に生かせるように構想している姿 (3学年、表現領域)
- ・目的と造形的な美しさとの調和のとれたデザインにするために、環境や相手との関わりから形や色彩、素材、配置を総合的に考えている姿 (3学年、表現領域)

3 題材名・学年 「身近な美を飾ろう」・1年

4 題材の概要 (全7時間扱い 本時は第4時)

題材の学習問題

学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるためには、どのような額縁で飾ればよいのだろうか。

題材展開

時間	学習活動
第1時 ～ 第2時	◆<u>カッターナイフの使い方や、段ボールの特徴について理解する</u> ・カッターナイフの使い方を理解する。 ・額縁についての鑑賞の学習を行い、額縁の効果について理解する。 ・段ボールを切ったりくっつけたりするなど、様々な形を試しづくりしながら、「額縁デザインポイント」(飾り、厚み、幅、質感等)として、表現方法を共有していく。 【題材の学習問題】学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるためには、どのような額縁で飾ればよいのだろうか。
第3時	◆<u>どのような額縁にしたいか、主題を見いだす</u> ・自身が表現した「身近な美」を、学習発表会でどのような額縁で飾ればよいか、主題を考えながら構想をしていく。
第4時 (本時) ～ 第6時	◆<u>自らの主題を表す額縁のデザインの構想を練り、表現する</u> ・「額縁デザインポイント」に着目しながら、自らの主題を表す額縁のデザインについて、構想を練る。 ・友と額縁を鑑賞し、主題と表現とのつながりについて、助言し合う。 ・友の助言を参考にしながら、額縁のデザインを練り直す。 ・練り直した構想を基に、主題を表す額縁を表現する。
第7時	◆<u>完成した互いの作品を鑑賞して表現のよさや美しさを感じ取る</u> ・友と、「身近な美」をどのように額縁で飾ったのか見合う。 ・友の作品を鑑賞しながら、額縁の効果についてまとめる。

美術科学習指導案

令和7年7月16日(水) 5校時 美術室

授業学級 1年E組(35名)

授業者 田村 淳樹

1 題材名 「身近な美を飾ろう」

2 主眼

※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるには、どのような額縁で飾ればよいか考える場面で、額縁デザインポイントに着目して試しづくりながら構想することを通して、主題を表す表現になっているか考え、構想を練ることができる。

【A表現(1)イ(ア)、[共通事項](1)ア】

3 題材の学習問題： 学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるためには、どのような額縁で飾ればよいのだろうか。

4 本時の位置(全7時間中 第4時)

前時：どのような額縁にしたいか、主題を考えながら構想した。

次時：友と額縁を鑑賞し合い、友の助言を参考に額縁のデザインを練り直す。

5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 題材の学習問題を確認し、本時の見通しをもつ。	学習問題：学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるには、どのような額縁で飾ればよいだろうか。 ア 私はチューリップの絵を描いた。チューリップをより引き立てて見せるような額縁にするには、どのようなデザインにしていけばよいだろうか。 イ 友は、桜の木に合うように質感の額縁を表そうという主題を考えていた。木の質感をどのように表現していくのだろうか。 ウ 額縁デザインポイントの様々な形の飾りに着目すれば、絵を引き立てる表現につなげることができそうだ。 エ 自分の主題を表す額縁を、額縁デザインポイントを活用して、試しづくりをしながら構想していきたい。 学習課題：額縁デザインポイントに着目して試しづくりながら構想しよう。	・身近な美をどのように飾りたいか、前時見出してきた主題について問う。 ・アやイのような反応を受け、額縁デザインポイントを集約した資料を美術室内に展示してあることを伝える。 ・これまで見いだしてきた額縁デザインポイントの中で、各自の主題を表すために、活用できる表現があるか問いつつ、ウやエのような反応から、学習課題を据える。	10分
	2 額縁デザインポイントを生かしながら、試しづくりをし、構想する。	【A生：絵を引き立てるデザインの追求】 オ 私はチューリップの花の華やかさを引き立てたい。 カ 額縁デザインポイントの中で、流線形の形をした形があったが、曲線美が花の華やかさを表現できるかもしれない。いくつか曲線で飾りをつくってみよう。 ◇ 曲線による表現の中にも、長さや幅を工夫することで印象の変化があるということを提示しながら個別支援していく。 キ 流線形の形で、花の華やかさを引き立てる額縁になってきた。	【B生：絵に関連するデザインの追求】 ク 私は桜の木の表皮のゴツゴツした質感を額縁で表現したい。 ケ 額縁デザインポイントの中で、段ボールの表面を削り取ったり、破いたりする、表面のゴツゴツ感を表す表現があった。 ◇ ゴツゴツした感じを出すために、ちぎったものを接着する方法など、B生の主題に向いている表現方法をいくつか提示しながら個別支援していく。 コ 紙を丸めると、もっと木のゴツゴツ感を表現できそうだ。	30分
終末	3 本時の学習を振り返る。	サ 流線形の飾りを工夫することで、花の華やかさを引き立てることができてきた。別の曲線も使うことで、もっと花の華やかさを強調することができそうだ。 シ 主題を基に、額縁デザインポイントを活用しながら考えてきたが、本当に自分の表したいデザインに近付いているのだろうか。次回、友と見合って、友の意見を聞いてみたい。	主題を表す表現になっているか考えながら、構想を練っている。(ワークシート) ・主題を表せた部分と、さらに追求したい部分という視点で、気付いたことを振り返るように促す。 ・片付けの指示をする。	10分